

「新しい公益対話フォーラム～寄附を通じた民間公益活動の活性化～」

2025年12月10 日（水）

パブリックリソース財団

～意志ある寄付のための「あなたの財団」～

（公財）パブリックリソース財団 代表理事・専務理事
岸本幸子

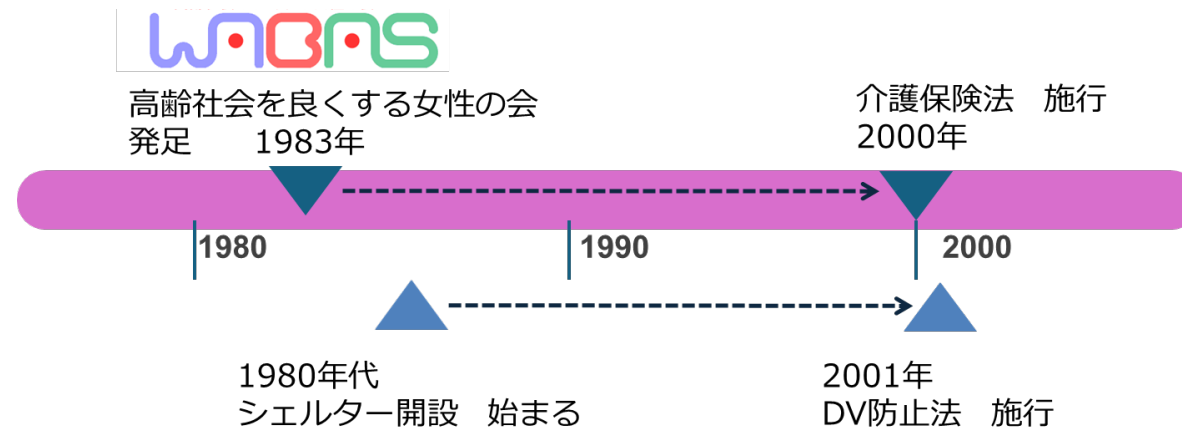
自己紹介

- 民間シンクタンクで1993年日本で最初の市民活動実態調査、1995年NPO法制定のための基礎調査を担当。
- 「寄付との出会い」は、児童公園のチューリップとおじいさん
- 米国大学院留学、全米最大手のコミュニティ財団であるニューヨーク・コミュニティ・トラストで資金調達や助成事業に携わる。
- 2000年NPO法人パブリックリソースセンター、2013年パブリックリソース財団を設立し、現職。

<寄付は人生の軌跡>



<寄付は未来への投資>



パブリックリソース財団

～意志ある寄付で社会を変える～

日本初の全国規模
市民立助成財団

○2000年
非営利中立のシンクタンク、
NPO法人パブリックリソースセ
ンターとして活動開始。
○2013年
公益財団法人として再スタート。

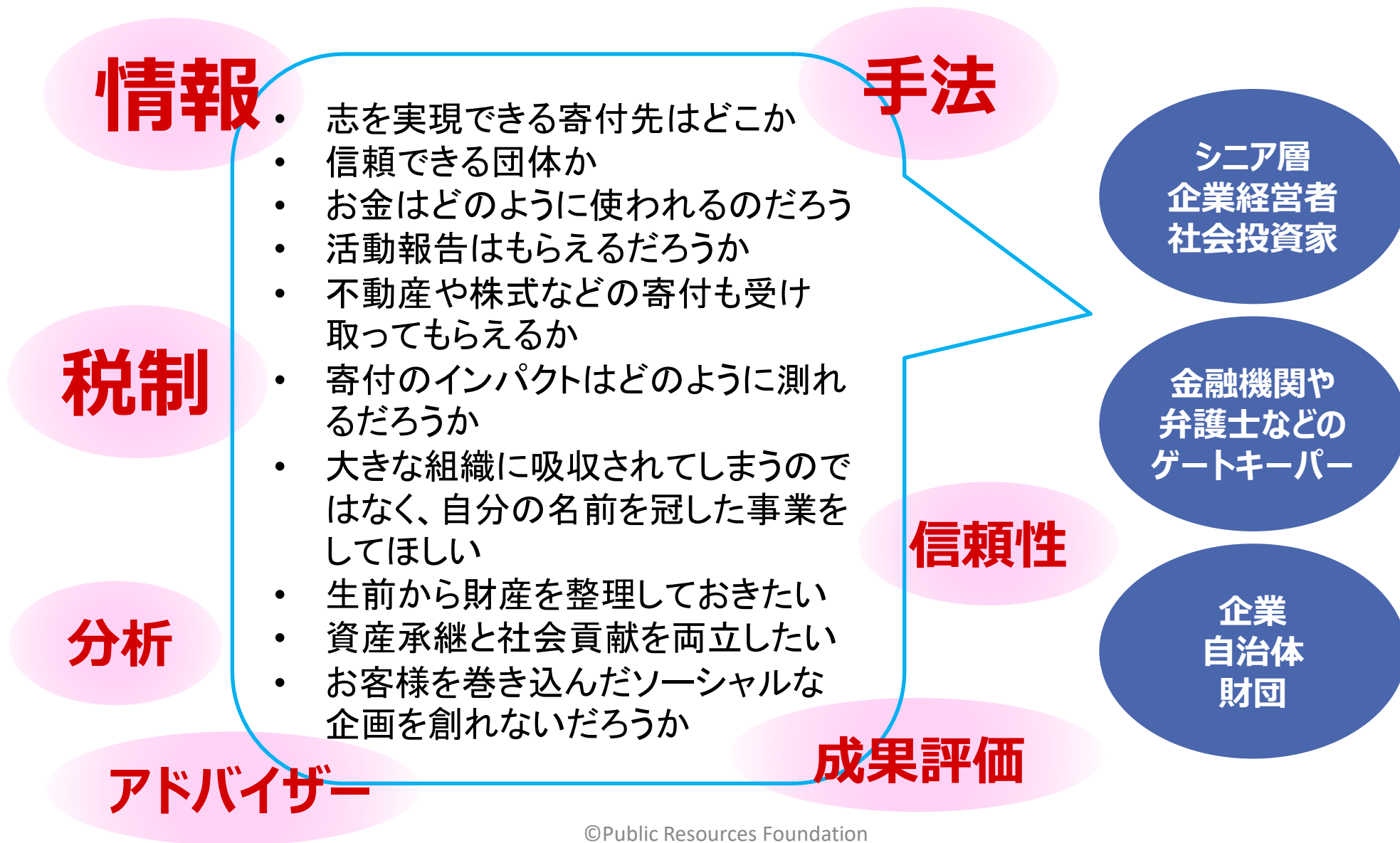
寄付者が基点
社会の周縁から始まる変革
社会的インパクト

○オリジナル基金®
○「寄付適格認証団体データ
ベース」
○遺言や相続財産による遺贈
の受け入れ
○金融機関や専門家との協働
による新たな寄付スキームの
推進

累計寄付54億円
創設基金数54

○2024年度
経常収益:600百万円
寄付受け入れ額:362百万円
寄付件数:4,889件
活動中基金数:39基金
助成金額:401百万円
助成先:437団体

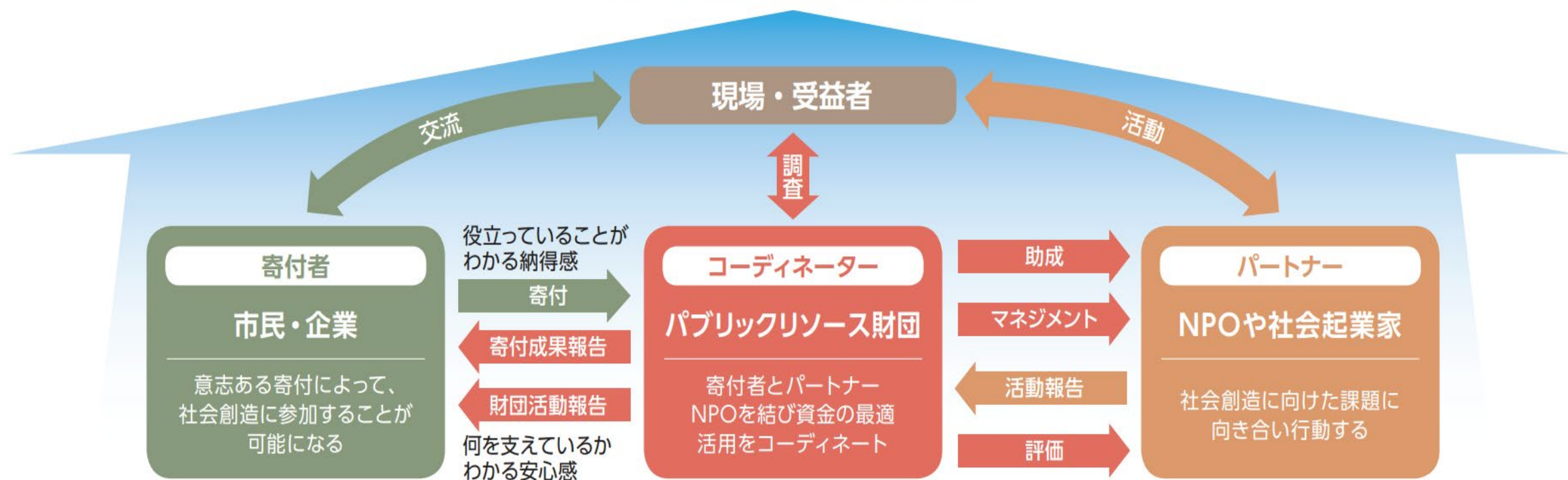
寄付者の心理、ニーズ： 5割の人は、寄付は未来社会への投資だと思う 8割の人は、寄付がきちんと使われているか不安（出所：寄付白書2020）



意志ある寄付で社会を変える

寄付する方が手ごたえを感じ、成果を見届けられる寄付

寄付でつながる 持続可能な社会の創造



あなたの財団宣言

～私たちのアプローチ～

1 Everyone a Change Maker

私たちはあなたの想いに耳を傾けます。

2 Effective Philanthropy

私たちはリサーチと仕組みづくり、協働を通じ、最も効果的な社会貢献、資金支援の方法を提案します。

3 Not Just Giving, but Solve

私たちはお金を出して終わりではなく、寄付がインパクトを創ることを目指します。

オリジナル基金®

独自の社会貢献事業のための資金プールです

応援したいテーマ、大切にしてきた価値など、寄付者の志に沿った社会貢献を、継続的に実施するための資金のプールです。現金のほか、株式、不動産のご寄付も受け入れます。社会貢献の対象としては、国内活動だけでなく、国際的な活動の支援も可能です。

財団設立より、迅速かつ柔軟に創設できます

財団への寄付申込書、寄付活用計画、寄付送金によって、迅速に創設できます。個人でも法人でも創設できます。複数の方の寄付を入れたり、追加の寄付をすることもできます。基金の名称は自由に設定でき、冠基金とすることもできます。

公益財団法人の特定資産として管理されます

公益財団法人の用途指定された特定資産として、他の資金と明確に区別して管理されます。あらかじめ決められた用途に従って支出し、適宜基金の活用状況をご報告します。「使い切り型」と「運用型」の二つのタイプがあります。

オリジナル基金の二つのパターン

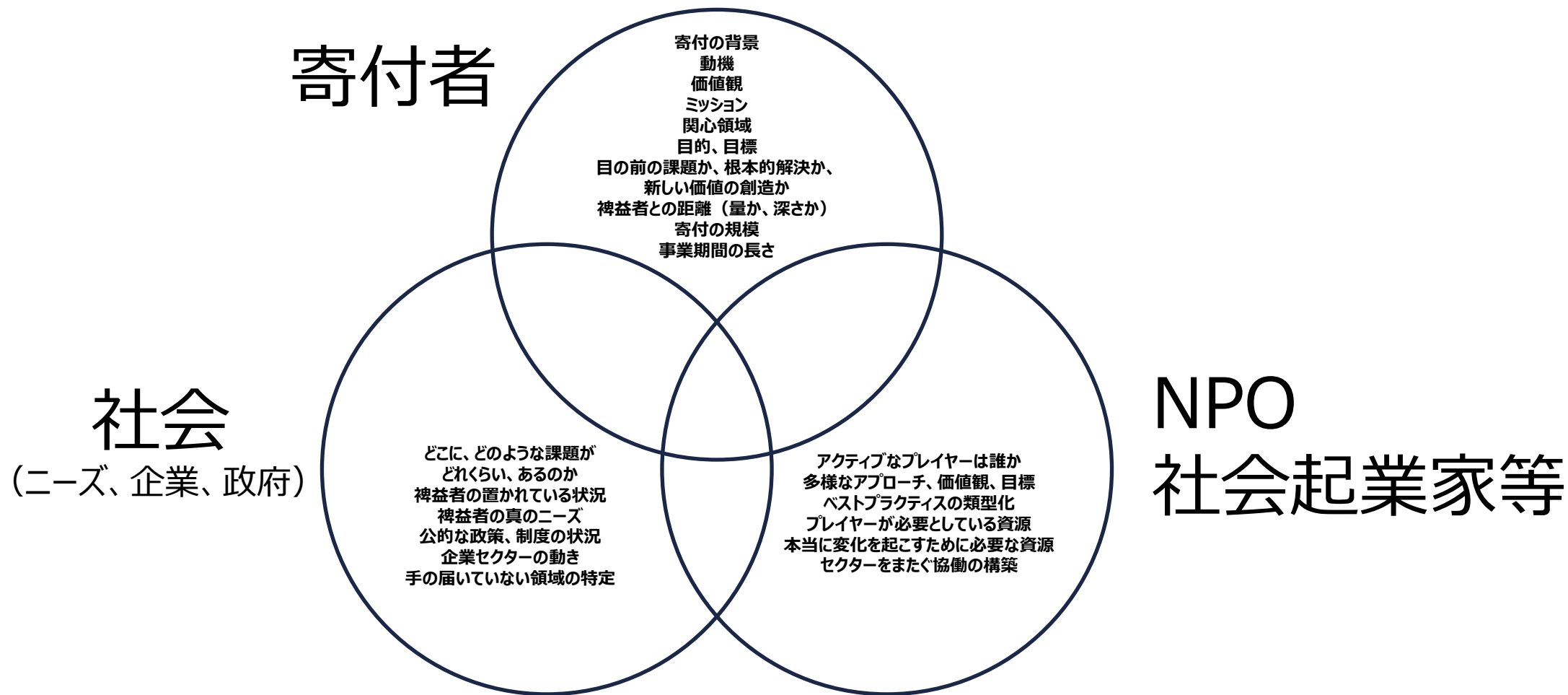
企画公募型

支援したい分野の社会課題の researched に基づき、独自の助成プログラムを策定し、支援先団体を広く公募により募集し、第三者によって構成される審査委員会による審査を経て、支援先団体を決定し、助成する方式

セレクト型

弊財団の有する「寄付適格認証団体データベース」に認証登録された団体の中から支援したい団体を寄付者が選択して、寄付をする方式

寄付者基点で、最も効果的な 助成プログラムをデザイン



2 Effective Philanthropy

寄付適格性評価による認証システム

2つの視点(社会的インパクト、信頼性)、4つの領域、17の評価項目
社会課題解決、価値創造に向けて、前向きにがんばるNPOを寄付者に推奨

領域1＜目的＞

- ①ビジョンとミッションはニーズに込えているか
- ②目標を達成するための優れた戦略を持っているか
- ③実際の活動は戦略をきちんと反映しているか
- ④成果を出しているか

領域2

＜インパクトの実践＞

- ⑤学び改善するために情報を活用しているか
- ⑥自分たちが達成することは何か明確になっているか
- ⑦正しく評価を行っているか
- ⑧評価の結果を公開しているか

領域3＜人＞

- ⑨優れたリーダーシップがあるか
- ⑩優れた人材を採用し、やる気を引き出しているか
- ⑪ガバナンスはしっかりしているか
- ⑫受益者を団体の活動にうまく巻き込んでいるか
- ⑬健全な組織文化があるか

領域4＜財政と安定＞

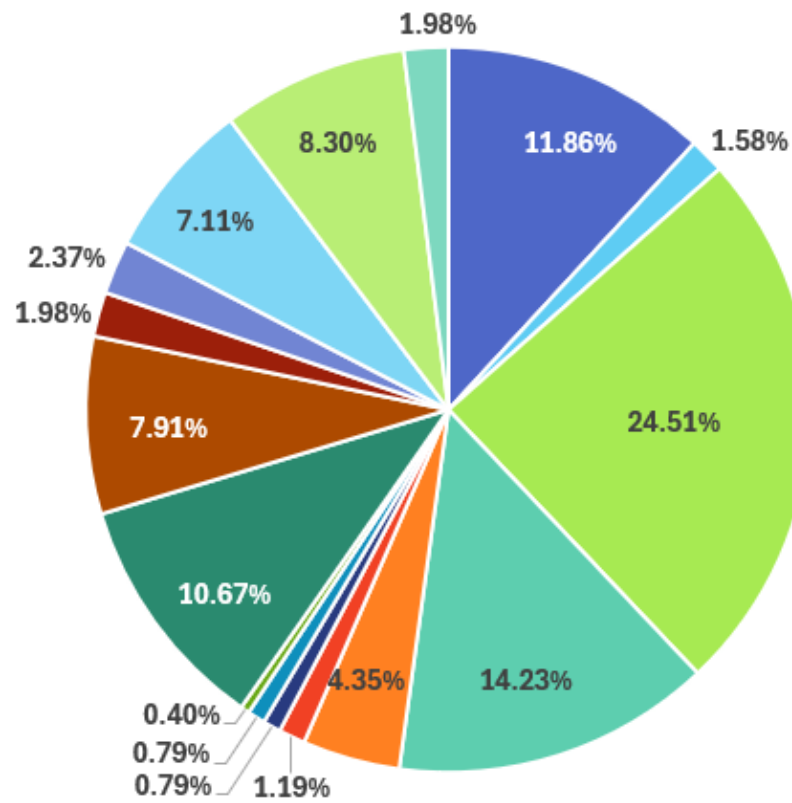
- ⑭必要な資金を十分に確保できているか
- ⑮財務管理は優れているか
- ⑯業務管理は優れているか
- ⑰すべてのリソースを効率的に活用できているか

寄付適格認証団体データベース（253団体）

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう

(団体)

30
4
62
36
11
3
2
2
1
27
20
5
6
18
21
5



1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう

3 Not Just Giving, but Solve

助成事業における「伴走支援」

1 進捗管理、対話、説明責任

- ✓ ロジックモデル、成果指標
- ✓ スケジュール、マイルストーン（節目となる目標）
- ✓ 支出の適正性
- ✓ 権利関係、契約関係、コンプライアンス
- ✓ 計画変更への柔軟な対応
- ✓ 成果評価、情報発信

2 介入（アセスメント⇒専門家的支援へのコーディネート）

- ✓ 事業目標の達成
- ✓ 助成期間終了後の事業継続・展開、組織の持続・発展
 - ・事業化（事業収入、行政、寄付）
 - ・組織基盤強化

運用×セレクト型オリジナル基金®

- 公益財団法人と金融機関の協働
- 公益財団法人に対する税制上のメリット
- 受入れ寄付は運用して、育てるオリジナル基金
- 寄付適格認証団体リストから寄付者が選び、任意の金額を助成できるインパクトギビング

ご清聴ありがとうございました